



木戸 奈諸美 議員
(市民クラブ)



七尾駅前にぎわい館

一般質問

■七尾駅前複合商業施設「パトリア」について

パトリアの指定管理評価および看護専門学校
校移転の可能性

質 現在の七尾駅前複合商業施設「パトリア」について、指定管理による運営状況をどのように評価しているのか伺う。また、この期間における指定管理料はどの程度か。併せて、中心市街地の再生・活性化の起爆剤として、パトリアを七尾看護専門学校の移転先とする考えはないか伺う。

答 創生ななおの管理運営状況については、今年度のテナント誘致実績が1件にとどまり、全てのテナントスペースを埋められていないという課題がある。ただし、利用者からの苦情対応や緊急時の対応は適切に行われており、おおむね適正に管理運営が行われていると認識している。これまでの指定管理業務を通じて、施設運営に必要なスキルや知識が組織として蓄積されており、今後は、にぎわい館のみならず、中心市街地全体への波及効果も期待している。なお、指定管理料は3か年度で約3億1,200万円である。

また、七尾看護専門学校がパトリアに移転する場合、1学年30人規模の教室が3室に加えて、実習室や職員事務室などが必要となる。これらを確保できるだけの空きスペースは現状では不足している。さらに、教室や実習室の改修には相応の経費を要することから、現状のパトリアを移転先とすることは現実的ではないと判断している。しかしながら、今後、看護専門学校側にも移転の必要性について確認していきたいと考えている。

一般質問

■子どもの遊び場の整備について

市民ニーズを反映する仕組みを！



和田内 和美 議員
(新政会)



質 屋内型の遊び場は、子ども目線を大切に、市民に見える形で進めることが重要である。旧御祓中学校校体育館や武道館の活用が検討されているが、保育関係者や子育て世代からは立地に関する多様な意見が示されており、市民ニーズを反映する仕組みが必要である。そこで、児童福祉分科会等で論点を再整理し、アンケートや説明会で意見を把握し、立地判断の基準を明確化する考えを問う。さらに、旧御祓中学校に加え、中心市街地など複数候補をアクセシビリティや費用、運営コスト等も含めて、周辺機能との相乗効果の観点で比較し、市民合意を得て判断する考えを市長に伺う。

答 旧御祓中学校校体育館、武道館の確災状況を確認した上で、他の候補地の可能性についても検討を進めている。候補としては旧御祓中学校以外に、パトリア内やお祭り会館内なども考えられる。今後は候補地のイメージ図を作成し、市民に対して整備場所に関するアンケートを実施する予定である。アンケート結果を踏まえ、七尾市健康福祉審議会児童福祉分科会で再度審議を行い、その結果に基づき、市として最終的な整備場所を決定する方針である。